

付属音楽園 合唱団 プェリカンタンテス 指導者紹介



高橋 愛 (たかはし あい)

「かえるのうた」のメロディーはとても簡単ですが、歌い始める位置をずらして歌うと、ハーモニーを奏することができますよね。これを“輪唱”または“カノン”といいます。

実は、モーツァルトやベートベン、シューベルトも、短いカノンを作っています。ひとりでメロディーを歌って見たらなんでもない曲も、歌い始める位置をずらすだけで、ビックリするような合唱曲になるんですよ。

ひとりでは出来ない楽しいことや素敵な音楽が、合唱では体験出来るんです！その楽しさを知ってもらえたら、とても嬉しいです。



昆野智佳子 (ひの ちかこ)

子どもの頃に歌ったうたは、大人になってもよく覚えているものです。子どもたちにたくさんの歌を知ってほしいし、歌わせてあげたいと思います。

そして学校も、住む地域も違う子たちが集まり、プェリの仲間として一緒に歌った経験は、きっと大きな宝物になると信じています。



仲西富弥香 (なかにし ふみか)

合唱はア・カペラ(無伴奏で歌う)だけでなく、いろいろな楽器の支えがあって歌います。

私はその中のピアノを通して、音楽の素晴らしさを伝えたいと思います。

作曲家は、何百回も詩を読み、それにリズムや音をつけていくそうです。だから楽譜に書いてあるものは、全て大切なメッセージです。それをいかにわかりやすく音で表現したり、言葉で伝えることができるかを常に考えてレッスンしています。

ピアノ以外の楽器にも合唱を通してふれてほしいです。エリザベト音楽大学では素晴らしい先生がいらっしゃいますし、立派な施設を利用することができます。この恵まれた環境で仲間と歌い、キラキラする宝石のような時間を過ごしてほしいです。